

目次 Contents

さあ始めましょう ～手引の使い方～	5
はじめに	10
1課 シメオン、アンナ、バプテスマのヨハネ	11
2課 パリサイ人と女、百人隊長	16
3課 役人とザアカイ	22
4課 盲人	28
5課 ヤコブとヨハネ	35
6課 ペテロ	42
7課 ピラト	49
8課 ピリポとトマス	55

1課

イエスに会った
シメオン、アンナ、バプテスマのヨハネ

ユダヤの人々は、神が遣わしてくださるメシア(救い主)の到来を待ち望んでいました。モーセの律法に従ってエルサレムの宮に連れて来られた幼子イエスに出会ったシメオンとアンナも、こういう人たちでした。彼らは、神のご計画に対する鋭い感受性をもっていたので、幼子イエスのうちに神の臨在を知ることができたのです。

このふたりは、イエスのことばやいやしのわざに触れたわけでもないのに、イエスが来られたことによって自分たちに救いをもたらされると信じています。生涯を通して創造主である神を礼拝しつづけてきた彼らは、神が創造的なみわざをなさることを期待し、その訪れを敏感に感じ取っているのです。

バプテスマのヨハネの生涯は、その誕生の前からイエスと結びつけられていました。ヨハネがイエスと個人的に出会い過ごした時間は、福音書が示すかぎりでは、ほんの短いものでした。しかし、ヨハネはイエスの宣教の働きのために準備をするという、自分に与えられた使命を忠実に果たしたのです。

シメオンとアンナ

ルカ 2:22 - 38

- 1 a. マリヤとヨセフは、なぜこのときに、イエスを宮に連れて来たのでしょうか。
- b. シメオンについて、わかることをあげましょう。彼は何を待ち望んでいますか。どんな約束が与えられていますか。

- c. 今日ならば、一般的に人々は何を望んでいますか。それは、人々の生活に、どんな影響を与えていますか。

- 2 a. マリヤとヨセフがイエスを宮に連れて来たときに、シメオンはどうしてそこに居合わせたのでしょうか。
- b. シメオンの願いと、彼が聖霊に知らされたこととは、どのような関係がありますか。
- c. 今日、聖霊は、どのように人を導くのでしょうか。

- 3 シメオンのことばから、イエスについてわかることをいくつかあげましょう(29-35節)。

注) シメオンの語ったことは、のちになって成就していきます。シメオンは、ここでイザヤ42章6-7節、46章13節、49章6節、52章10節から引用しています。

- 4 a. アンナについて、何がわかりますか(36-38節)。
- b. アンナは、シメオンとイエスの出会いを見て、何をしましたか。だれに話しましたか。
- c. 彼女はイエスについて、何を信じていますか。
- d. アンナが、宮でこの出来事を見るのが許されたのは、なぜだと思えますか。

- 5 私たちは、イエスについてのメッセージをどのように伝えることができるでしょうか。具体的に考えましょう。

バプテスマのヨハネ

ルカ 3:1 - 17

- 6 4-6節にある旧約聖書の預言は、バプテスマのヨハネによってどのように成就されましたか。
- 7 バプテスマのヨハネの説教について、次のことを見てください。
- ヨハネは、群衆にどんな警告をしていますか。
 - さまざまな立場の人に対して、それぞれどんな忠告をしていますか。
 - ヨハネの警告の意味は何ですか。
 - この警告から、悔い改めるといふことについて、具体的にどんなことがわかりますか。
- 注) ルカ3章7節で、ヨハネは燃え広がる野火を避けて逃げる、ヨルダンの荒野の蛇をたとえとして使っています。
- 8 a. ヨハネは自分の立場について、またキリストについて、どのように説明していますか (15-17節)。
- b. 1-17節のヨハネの教えから、信仰と行いについて何がわかりますか。説明しましょう。

ヨハネ 1:19 - 36

- 9 a. ヨハネはイスラエル人に、特別な方を迎えるための準備をさせていました。ヨハネ自身はこの方について、どんなことを知っていましたか。何を知らませんでしたか (31、33節)。

- b. ヨハネは、自分のすべき働きは何だと言っていますか。
- c. イエスが来たるべき方であることを、ヨハネはどんなしるしによって知らされましたか。
- d. なぜヨハネは、イエスを「神の小羊」と呼んだのですか。この呼び名の意味は何ですか。(Iペテロ [ペトロ] 1章18-19節、ヘブル[ヘブライ] 9章12節参照)
- e. イエスはどのようにして世の罪を取り除くのですか。(ローマ3章23-25節参照)

マタイ 11:2 - 6

- 10 a. 牢獄に捕えられているヨハネは、どんなことを悩んでいますか。
- b. ヨハネは自分の疑問をどのようにして解決していますか。
- c. イエスはヨハネの質問にどう答えていますか。
- d. 5節とイザヤ35章4-6節を比べて、気づいたことをあげましょう。
- e. 私たちの内に疑いがおこったときは、どうしたらよいでしょうか。

❖ まとめましょう ❖

- 1 a. シメオンやアンナ、バプテスマのヨハネから、イエスについて学んだことをもう一度あげましょう。

b. 他の人はあなたを通して、イエスについてどんなことが学べるでしょうか。

2 a. シメオン、アンナ、バプテスマのヨハネは、神に対してどのような姿勢でいますか。

b. そのことは、彼らが^{あがな}贖いの知らせを受け入れるために、どんな準備となりましたか。

c. 彼らはこの知らせを聞いたときに、何をしましたか。

・むすび・

イスラエルの民は、旧約聖書の時代から、解放者、贖い主を待ち望んでいました。この約束を信じて忠実に歩んできた人々の歴史の流れの最後に、シメオン、アンナ、バプテスマのヨハネがいます。古い契約で約束されたすべてが成就する、新しい契約の時代が始まろうとしていました。この3人は、新しい契約のもとで歩みだす人々の、先頭に立っていたとも言えるでしょう。彼らは、世の罪を除く「神の小羊」によって約束が成就するのを、信仰の目をもって見ていました。彼らの信仰の遺産は、現代の私たちにまで受け継がれてきています。彼らと同じように、イエスがどなたかを知り、イエスを救い主、主と仰いで、イエスによる約束の成就を見て歩んでいきましょう。